
日本看護系学会協議会ニュースレター速報

2019年6月4日配信 (2019. vol.2)

2019年4月13日(土)に日本赤十字看護大学において、平成31年度第1回理事会を開催しました。また、2019年5月18日(土)には日本看護系大学協議会事務局にて、令和元年第2回理事会を開催しました。2回の理事会内容が連動しておりますので、併せて報告いたします。

1. 理事会からの報告

【第1回理事会】

- 1) 二重投稿や盗用などの学会誌編集に関わる課題が確認され、これに対応するため、社員学会の編集委員会の連携、看護系雑誌の編集ガイドラインの作成を進めることが必要であり、その体制づくりについて議論された。日本医学会は2015年に、「医学雑誌編集ガイドライン」を作成している。そのため、本ガイドライン作成に関わった委員に、2019年度の総会後の講演会講師を依頼し、看護学における「編集ガイドラインの作成に向けて」をテーマとすることとなった。

【第2回理事会】

- 1) JANA 災害関連の活動状況に関するメール調査

調査結果について、山本理事より報告された。結果の詳細は、総会等で報告されることとなった。

- 2) 2019年度日本看護系学会協議会総会後の講演会について

片田会長より講演会の企画について報告があった。講師は、北村聖氏(公社)地域医療振興協会 地域医療研究所シニアアドバイザーであり、テーマは「学術誌編集ガイドラインづくりに向けて」に決定した。日時と場所は、以下の通りである。

日時：2019年6月23日(日) 16:00~17:00

場所：日本赤十字看護大学 301教室

- 3) Nursing Now キャンペーンについて

岡谷副会長が、Nursing Now キャンペーン実行委員会の発足会(開催日:5月11日)に参加したことが報告された。30近い協会や協議会等の団体が参加し、ナイチンゲール生誕200年となる2020年末までキャンペーンを展開することが報告された。

国際的には、世界保健機関(WHO)と国際看護師協会(ICN)が連携し、Nursing Now キャンペーン理事が運営している。日本においても、2020年は「看護の日」の創設30周年にもあたり、多様な活動を通して看護をアピールしていく予定である。

2. 社員学会会長からの挨拶

看護教育研究学会

Academy of Nursing Education Research

森 千鶴 会長

2019年1月に社員として加入させていただきました看護教育研究学会でございます。

看護教育研究学会は、看護及び看護教育に関する研究を発信し、看護学の発展に寄与するとともに看護職者の資質の向上を図ることを目指して12年前に設立いたしました。

近年、教員の教育力や看護実践力が問われていますが、教員も専門職業人として看護を問いつけることが重要であり、このような姿勢を示すことによって学生も看護を探究することができると考えております。

本学会では、日頃感じている看護教育の課題、教育内容に関わる看護実践や教育方法、教育評価などの看護教育に関する事、学生のことなどについて共有し、一人一人が活力を得られるような学術集会の開催、年2回の学会誌の発刊をしています。規模は小さいのですが、志を高くもち、熱く語り合うことがモットーです。また看護職者の教育力や研究力の向上を目指した学習会を年1回、開催しております。

微力な学会ではありますが、看護学の発展に寄与できるよう会員共々努力をしていきたいと考えておりますので、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社員学会の皆様には、災害関連の活動状況に関する調査等、複数の依頼に対し、ご対応をいただきありがとうございました。既にご案内が届いていると思いますが、6月23日（日）に今期最後の総会が開催されます。皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

ニュースレター担当理事

西村ユミ（首都大学東京）